2026 年 11 月 16 日

各位

株式会社 北陸銀行

「アルプスビル新館」の竣工について

ほくほくフィナンシャルグループの北陸銀行（頭取　中澤 宏）は、富山市東田地方町 1 丁目に建設を進めてきた「アルプスビル新館」が 11 月 16 日に竣工したことをお知らせします。

当行は、アルプスビル新館を、銀行業務を支える中核施設として活用し、業務の効率化、職場環境の更なる向上および地域のお客さまへのサービス品質の向上に努めてまいります。

記

1．建物の概要

名　　称	アルプスビル新館
所 在 地	富山市東田地方町 1 丁目 5 - 25
構　　造	鉄骨造・地上 7 階建
延 床 面 積	7,010.11 ㎡
高　　さ	36.9m
主 要 用 途	1 階　：ロビー・応接室・車庫等 2 階　：執務室・会議室等 3 階　：食堂・厨房・会議室等 4～7 階：執務室・会議室等
着工・竣工	2024 年 4 月着工、2026 年 11 月竣工
設　　計	株式会社日建設計
施　　工	佐藤工業株式会社

２．建物の主な特徴

（1）新築・改修による業務機能の集約

アルプスビル新館の新築と合わせて既存のアルプスビル本館の改修を実施し、富山市内に分散していた本部・事務部門を集約しました。新旧の建物を各階の渡り廊下で接続して一体的に活用することで、業務効率化と部署間の連携強化を図ります。

（2）BCP への対応

耐震上級構造、非常用発電機、防水板等を採用し、地震や水害等の災害発生時における業務継続性の向上を図ります。

（3）環境への配慮

LED 照明や太陽光発電設備の導入、トップライトによる自然光の活用など、省エネルギー化と環境負荷の低減に配慮します。

（4）富山の自然を取り入れたデザイン

外観は「雪の大谷」をモチーフとし、雪の積層を表現した外装材やタイルを採用しています。館内は、富山の自然をテーマに、各階で異なるアクセントカラーや内装を採用しています。

（5）働きやすさと交流を促す空間

自然光を取り込むアトリウム、立山を望む明るく開放的な執務室、人が集まり自然に会話が生まれる交流スペースなど、働きやすさとコミュニケーションに配慮した職場環境を整備しています。食堂には、大きな傾斜窓と木の温もりを生かした、開放的で落ち着きのある空間を設け、食事だけでなく仕事や休憩、交流など、さまざまな用途に対応します。

３．該当するＳＤＧｓの目標



SDGs は　Sustainable Development Goals の略称で、2015 年に国連で採択された 2030 年までに達成すべき 17 の目標と 169 の具体的なターゲットを定めた「持続可能な開発目標」です。
ほくほくフィナンシャルグループは、2019 年４月に「SDG ｓ宣言」を表明しました。

＜本件に関するお問い合わせ先＞
北陸銀行　経営企画部総務室　TEL(076)423-7111
経営企画部　TEL(076)423-7111

以上

北陸銀行

別紙

＜外観＞



＜アトリウム＞



＜食堂＞



＜カフェ＞



＜オフィス＞



＜会議室＞



北陸銀行